



防災なまず通信 第4号

【なまずの会】とは？

「なかと まちを ずっと守ろう」の頭文字を取って名付けられた、東地区の有志によるグループです。年齢や性別等を問わず、誰でも参加・発言できる会議として、地域の皆さんと一緒に防災について考えていく場です。

特集：自治会で防災グッズを備えるために

垂井町には、「垂井町自主防災組織防災資機材購入費補助金制度」があります。

自治会ごとに設置された自主防災組織が防災資機材を購入する際に 1 団体につき年間 10 万円を上限として、購入金額の半額（千円未満切り捨て）が補助されます。

対象となる防災資機材は、防災倉庫、可搬消防ポンプ、電池式メガホン、ヘルメット、消火器、救急用品、テント、担架、ロープ、工具類、携帯ラジオ、炊飯用具、ブルーシート、自家用発電機、組み立てリヤカー、トランシーバーなどです。防災を目的に、地域の共有施設などで共同管理することが条件です。



新年度を迎えるにあたって、自主防災組織がある自治会は、この制度を活用して、防災資機材を充実させてみませんか？ また、自主防災組織のない自治会は、まずは自主防災組織を発足させて、本制度を利用してみませんか？

申請方法などは、垂井町企画調整課生活安全係 電話 0584-22-1152 までお問い合わせください。

住宅用火災警報器について

住宅火災における死亡原因の1位は「逃げ遅れ」によるものです。なかでも就寝中に火災に気付かず、煙による一酸化中毒で動けず逃げ遅れ、命を落とすケースが数多く発生しています。

住宅用火災警報器の設置が義務付けられ 10 年が経過しました。設置から 10 年が経過すると電池切れやセンサー等の寿命により火災を感知しなくなる恐れがあります。

皆様のご家庭の住宅用火災警報器は大丈夫ですか？ 一度点検してみましょう！

※ 設置方法については各市町により異なりますが垂井町においては以下のとおりです。



「無事ですタスキ」



災害対策の基本は、自助、共助、公助

共助の入り口が安否確認です。

ご近所で取り組める共助として、黄色い看板やハンカチを使った安否確認があります。

私たちは、「無事ですタスキ」を使用します。

(令和4年4月上旬 第3号防災なまず通信と合わせて東地区に全戸配布しました。)

★洪水の場合

避難所への避難、親戚・知人宅への避難、屋内安全を確保した場合、玄関に「無事ですタスキ」をとりつけます。

★地震の場合

家族の無事確認、避難所へ避難した場合、玄関付近に「無事ですタスキ」をとりつける。

◎「無事ですタスキ」の大きな利点



「無事ですタスキ」を使うと・・・

自主防災隊・消防団などの安否確認の手助けになります！

本当に救助・手助けが必要な人のところへ、いち早く駆けつけることができるようになります。



使用例



玄関付近に取り付けましょう。

ガレージや物干し場など、人目につきやすい場所でもいいです。

普段は袋から取り出して、玄関にピン止めしておきましょう！



【発行・問合せ】 東地区まちづくり協議会・なまずの会

岐阜県不破郡垂井町綾戸 901-1 (東地区まちづくりセンター内)

電話: 0584-23-0028 / E-mail: hirgashikou@town.tarui.lg.jp